



おぐら
尾倉

<校訓>
自主
創造
協力



令和3年6月16日(水)発行
校長 栗原 博巳
北九州市八幡東区尾倉三丁目10番1号
HP: www.kita9.ed.jp/ogura-j/

<学校教育目標>

豊かな心を持ち、健やかでたくましく行動する生徒の育成～みんなで考え、みんなで取り組み、みんなでつくる尾倉中学校～

<目指す生徒像>

- ① 感性豊かで、意欲的、主体的に学習する生徒
 - ② 健康で明るく、思いやりのある生徒
 - ③ 礼儀正しく、奉仕の精神に満ちた生徒
- ◇ 元気のいい挨拶・礼儀・身なり・学習規律と集団生活における規律とマナー

進路講演会が行われました！(2・3年生)

6月14日(月)5・6校時に2・3年生を対象に進路講演会を行いました。講師は敬愛小学校副校長の龍 達也先生です。「未来を変えるための3つの方法」というテーマでしたが、2・3年生にとっては、モチベーションを高め、未来へと一歩歩みを進めるきっかけになったのではないのでしょうか。講演を聞く態度も素晴らしく、講演後の校長室で龍先生は尾倉中の生徒の素晴らしさに感動しておられました。私達は当たり前で生きています。その当たり前が当たり前ではないことに気づくことで新しい世界が広がってきます。龍先生のお話から、広い視野をもつことの大切さを学び、自分の可能性を信じられるきっかけを与えてもらいました。「未来を変えるための3つの方法」・・・「思考を変える～変化に対応できる力～」「与える人になろう」「感謝の気持ち」を胸に尾倉中学校の皆さんが未来へと羽ばたいていくことを期待しています。

思考を
変える

与える人
になろう

感謝の
気持ち

【龍 達也先生のプロフィール】

1973年福岡県生まれ。福岡教育大学卒業後、北九州市門司区の学校法人鎮西敬愛学園にて広報担当、ならびに社会科の教諭として勤務。CSR活動の教育講演会講師として多くの公立中学校にて講演を担当。スクリーンを使った分かりやすい講演は、多くの生徒達の笑いや涙、感動を誘い、彼らのヤル気の着火材となっている。



<講演会のキーワード(一部抜粋)>

○悪いことをすると悪いことがかえってくる ○笑顔 ○働く(人が他人のために動き、傍(はた)を楽させること ○今の仕事の50%がなくなる ○人のために行動すると、自分に「喜び」がかえってくる ○御陰様と有難う ○ありがとう 晴れた日も 雨の日も いつだってそばに居てくれる うれしいよ 温かいよ ほっとするよ 今日も ありがとう

「思考を変える～変化に対応できる力～」について、皆さんはダーウィンを知っていますか。彼は、1859年に発表した「種の起源」にある進化論で、「最も強い者が生き残るのではなく、最も賢い者が生き延びるのでもない。唯一、生き残るのは変化できる者である」という意味のことを示していると言われています。生物というのは、今生きている環境の中で生存競争に勝ち抜けるように変化(進化)していくということです。まさしく今、コロナ禍で世界は大変なことになっています。この示唆している意味は、彼の進化論に対する考え方の芯であると同時に、もともと医学を学びながらも次第に自然科学や地理、動物に興味を移すようになった彼の生き方そのものを表しているかのようでもあります。私たちの生きるこの時代は、ダーウィンの時代とは比較にならないスピードと規模で変化を続けています。その中で、生きていくために、変化に対応できる(=進化する!)生き方を身につけていきたいものですね。

昨日、皿倉小学校の森永 勇芽(もりなが ゆめ)校長先生から電話をいただきました。それは、尾倉中学校の生徒にお礼を言ってほしいという内容でした。森永校長先生は、毎日、正門近くで掃除をしながら皿倉小の子供たちに挨拶をしています。そこは、尾倉中の生徒の通学路にもなっているのですが、学校の前を通過して中学校に通っている尾倉中の生徒さんが、元気に「おはようございます!」と挨拶をしてくれるということでした。尾倉中の生徒の挨拶で、森永校長先生は毎日、さわやかな朝を迎えることができ、「今日も1日がんばろう!」という意欲が湧いてくるそうです。

挨拶はコミュニケーションの手段の一つであると同時に、人を元気にする「ことば」です。これからも、元気な挨拶で、多くの人を笑顔にしてください。尾倉中の生徒はすばらしい!